

# 香川大学の学生が竹炭焼きを体験しました

日 時： 令和6年2月21日（水）9：30～15：30（竹割り、詰め込み、焚き付け）  
令和6年2月28日（水）9：00～11：40（竹炭取り出し）

場 所： 香川県森林センター 実習室、採種園 ほか

参加者： 香川大学 たどつまちLabo メンバー7名

香川大学の地域活性化プロジェクト「たどつまちLabo」のメンバーの皆さんが、竹あかりイベント等で使用し役割を終えた竹を炭にして有効活用できないかと、竹炭焼きの体験に来てくれました。竹あかりの材料には多度津町内の放置竹林から伐り出した竹を使っているそうです。森林・林業にも関心をお持ちで、講義や採種園の案内、樹木の紹介にも真剣に耳を傾けて学ばれました。



①【1日目】竹あかりで使った竹を竹割り器とナタで割り、金槌で節を落としました。



②「簡単スミヤケール」という簡易軽量炭化炉になるべく隙間なく詰め込みます。



③ 焚き口に火を付けてうちわで扇ぎます。（11時着火）



④ 雨に備えて覆いを取り付け、煙の色を見て職員が炉を密閉しました。（同日21時）



⑤ 森林センター所長による講義「森林センターの取組み」



⑥ 森林センター林業普及指導員による講義「炭焼きとは」



⑦ 採種園を見学し、林業用種子生産について学びました。



⑧【2日目】できた竹炭は活用方法を模索するために持ち帰ります。



⑨ 園内を歩き、樹木や椎茸の原木栽培等について学びました。



⑩ 今回、大学と森林センターを繋いだ林業女子会@かがわ代表による講義「香川の森について」



⑪「100年先も元気な森を残すために私たちにできること」を考えました。



⑫ グループごとに発表し、顧問の教授から講評をいただきました。

（香川県森林センター 林業普及指導員）